

静岡でんかん・神経医療センター情報誌

平成 31 年 冬 第 57 号



新しい年のごあいさつ ――――	1
てんかんをめぐるアート展に参加して ――――	2
MOSES famosesブース	3
第48回日本臨床神経生理学会に参加して ――――	3
ペファリン先生講演会/第52回 日本てんかん学会 ―	4
平成30年度 静岡市認知症疾患医療センター	5
市民公開講座が行われました	•
『てんかん食』をもっと身近に… ――――	6
外来再診の診療体制/医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8



新しい年のごあいさつ



新しい年を迎えました。今年もどうぞよろしくお 願いいたします。

当院の現在の診療機能は昭和43年(1968年)には じまりました。重症心身障害の診療が1病棟40床 で開設し、少しずつ増床して、昭和47年(1972年)



に現在の4病棟(160床)になりました。この年には てんかん診療がはじまり、昭和57年にてんかん病 棟が4つ(200床)になりました。さらに、昭和58 年(1983年)に神経難病の診療を開始しました。新 たな建物が完成したのは平成13年(2001年)で、こ れが今ある病院です。

昨年(2018年)は1968年から50年目であり、重 症心身障害病棟ではお祝いをしました。3年後には てんかん診療も50周年を迎えます。

病院で働くスタッフはすべて入れ替わっています が、当時と変わらないのは、病院の周辺にある沼地 です。昔は入り江であったようで、低地盤で傾斜が 緩いため、周囲の急峻な山から注ぐ水がたまり、洪

水の後にはなかなか水が引きません。このため、市 街に隣接しながら多くの自然が残っています。遊水 地として活用されていますが、近年は公園化が進ん でおり、病院の東側区域は整備がほぼ終わり、広い 遊歩道にはカフェも出店しています。病院正面の区 域も整備がはじまりました。どのように変わってい くのかとても楽しみです。病院に来られた方の憩い の場になれば嬉しいと思います。 昨年は新しいMRI装置(3テスラ)が稼働を開始しました。今年はSPECT装置や脳波検査装置が新しくなります。当院では、これからも、最善の医療、療養しやすい環境に鋭意つとめてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今年が皆さまにとってよい一年でありますように 願っております。

(院長 井上 有史)



てんかんをめぐるアート展に参加して

した。ではかんがるアーのには当年を大会をもれる。

第52回てんかん学会学術集会の中で「てんかんをめぐるアート展」よこはま2018」が開催されました。会場には絵画作品はもちろん、書道作品、ダンボールでつくった作品、木の実や落ち葉で作った作品など、様々な作品が展示されていました。てんかんと共に生きるなかで生まれてきた作品、てんかんを日々支えている人の作品な











して、日本てんかん学会学術集会を静岡で開催した際に、 第50回の記念大会の企画としてはじまりました。私も この学術集会に関わらせていただきましたので、てんか んをめぐるアート展が継続して行われていることを非常 に嬉しく思いました。今後もこのような素晴らしい企画 が続いていくよう、心から願っております。

(療育指導室 髙橋 輝)







MOSES famosesブース

療育指導室 髙橋 輝

10月にパシフィコ横浜で開催された 第52回日本てんかん 学会学術集会にて、

MOSES famosesのPRブースを出展してまいりました。

MOSESとは、てんかんのある大人のための 学習プログラムです。仲間やトレーナーと意見 交換をしながら、病気についての知識、病気と 向かい合う方法について学ぶことができます。



famosesとは、てんか んのある子どもとその 親・家族のための学習 プログラムです。子ど



ものコースと親のコースがあり、子どものコースは遊びを通しててんかんについての多くのことを発見することができます。親のコースは一緒に参加した親やトレーナーと意見交換をしながら、知識や病気と向かい合う方法について学ぶことができます。

3日間で多くの方に足を運んでいただき、MOSES famosesのPRになったかと思います。 今後も当院では、MOSES・famoses トレーナー 研修が行われていきます。全国から多くの方に ご参加いただき、MOSES famosesを通してて んかんという病気の理解が広がっていけばと 思っております。

トレーナー研修等のMOSES famoses情報は、右記のホームページからご確認下さい。 http://mosesjapan.com

第48回日本臨床神経生理学会に参加して

臨床検査科 雨宮 華歩

2018年11月8日~10日の3日間、第48回日本 臨床神経生理学会が東京で開催されました。今回私



きました。

発表は緊張しましたが、質問だけではなく次の発表に繋がるアドバイスや労いの言葉をいただきとても励みになりました。また会場で大学の同級生と6年ぶりに再会する思わぬサプライズもありました。残念ながら最優秀演題賞には選ばれませんでしたが、様々な講演を聴講したり、他施設の方々と情報交換をしたり充実した3日間を過ごすことができました。

最後に今回発表するにあたって、ご指導いただい た先生方、検査科職員の方々に厚くお礼申し上げま す。

フェファリン先生講演会

西田 拓司

2018年10月29日、ベーテルてんかんセンターの マーガレット・フェファリン先生をお招きして、「て んかんのある人のホームから、コミュニティで自立 して生きるための援助へ~ベーテル150年の歴史を 辿る~ | と題する講演会が行われた。フェファリン 先生は心理師として長年てんかん診療に携われ、て んかんのある人の学習プログラムMOSES、てんか んのあるこどもと家族の学習プログラムfamosesの 開発、普及に中心的な役割を果たされた。ベーテル は1867年にてんかんのある人のための療養所とケ ア施設をつくるために設立され、2017年に150周 年を迎えた。ベーテルは当初、長期在住型のケアを 目的としていなかったが、実際には仕事がなく、帰 るべき家のない人たちに仕事と住む処を提供してき た。時代の変化とともに、ベーテルのあり方も変化 してきた。病院、学校、職業訓練や教育の施設が増 加の自己がすでけくるをるルしあ立決らる制る生よ行。は、るし定ら、限こ活うっべ、障人、し生地をとで支て一社害が自な活域受なき援いテ会



に開かれた街として生きている。ベーテルは、過去、 現在、未来のてんかん包括医療のあり方を示してい ることを教えて頂いた。

第52回 日本てんかん学会

精神科レジデント 西村 亮-

第52回日本てんかん学会学術集会は「日本のてんかん、世界のてんかん、そして、 てんかんの未来」というテーマで2018年

 10月25日から27日までパシフィコ横浜会議センターで開催されました。3日間で1900名者が第30名を当り、30発表参加者がよそ30名

した。私自身もポスター発表をさせて頂きました。3日間にわたり、多数の講演が行われており、私は「てんかん医療と精神医療との連携」などを聴講しました。3日目の午後には、ドイツのベーテルてんかんとかました。当院では、ドイツのベーテルでんかんの心理教育についてご講演頂きまんかんの心理教育についてご講演頂のままた、今学会に並行して第3回の下であるアート展も開催され、素のしい作品が多数展示されていました。今回の学会で得た知識や経験を今後の診療に活かしていきたいと思います。

平成30年度 静岡市認知症疾患医療センター 市民公開講座が行われました

事務部企画課専門職 綾野 哲文



平成30年 11月18日 (日)にグラ ンシップにて 「平成30年度 静岡市認 を センター市民

公開講座」が行われました。平成28年に開催以来、2年ぶりの市民公開講座で「認知症の最新情報」をテーマに一般市民107名の参加者がありました。

講義内容は、小尾智一センター長による①「認知症の診断・治療・予防」、小島 章孝栄養管理室長よる②「認知症予防と食事」、鈴木 健之作業療法士による③「認知症のケア」、堀 友輔医療社会事業専門員による④「認知症で困った時



の相談窓口」 (各者とも静 岡てんかん・神経医療セン ター所属)の 講義4題で、

その後の質疑応答と併せて約2時間半にわたって行われ、参加者はメモをとるなど熱心に聴講されている姿が見受けられました。質疑応答でも多くの質問が寄せられ、認知症への関心の高さがうかがえました。

ご協力いただいたアンケート結果には「説明が理解しやすく、認知症の種類やどのようなものなのか治療や予防について興味深い内容でし

た。」「わかりやすく、家族(介護者)の対応もわかり、学ぶことが出来た。」など、分かりやすく



良かったとい うご感想を多 くいただきま した。

また、アン ケートで「受

講のきっかけは何ですか?」とお尋ねしたところ、"自分自身の老後のため"が32%、"介護中の

ため"が26%、 "家族など身 近な人が高齢 のため気にか かるから"が 18%と、多く



の方が他人事ではなく、深い関心を寄せられて 受講されたことが感じられました。

今後はご指摘いただいた点などを検討しつ つ、市民公開講座を継続し、認知症の治療に とって重要な早期発見、早期治療の必要性を市 民の皆様に感じていただけるよう、努力してい きたいと思います。



『てんかん食』をもつと身近に…

難治性てんかんやグルコーストランスポー ター1 (GLUT-1) 欠損症、ミトコンドリア脳筋 症などに対する治療法のひとつである「てんか ん食(ケトン食)食事療法」の歴史は古く1900年 代前半にまで遡りますが、平成28年度診療報酬 改定で特別治療食として認められて以降、この 食事療法に取り組む病院・施設や治療のひとつ として選択される方が徐々に増えてきています。

てんかん食には「ケトン食」や「修正アトキン ス食」などがあります。高脂肪・低糖質という 特徴はどの食種においても共通しています。 ケトン食は摂取するタンパク質・脂質・糖質 の量の割合からケトン指数を計算しますが、修 正アトキンス食は糖質量(一日あたり成人15~ 20g、学童12.5g、乳幼児10g)のみの制限であ るため、就労されている成人の方や学校に通わ れている学童の方にとってはより継続しやすい 方法であると言えます。

近年様々な分野で糖質を制限する食事が注目 されるようになり、近隣のスーパーやドラッグ ストアなどで低糖質の食品を目にする機会が 多くなりました。ご飯やパン、麺類といった主 食の摂取が制限されるてんかん食にとって、小 麦ふすまで作られた低糖質のパンやこんにゃく



「キッシュ風」

などで作ら れた糖質ゼ 口の麺は 取り入れや すい食品 であり、メ ニューの幅

も広がります。 しかし一方で、 脂質を多く摂取 することは日本 の食事に慣れて いる私たちに とってはなかな か容易なことで はなく、その食 事を食べやすく するための食材 選びや調理方法 に工夫が必要と



「アーモンドプリン」



「バレンタインチョコレート」

なります。この食事療法を治療のひとつとして 選択される方が増えてきたとは言え、世間一般 に広く周知されていると言うまでにはまだまだ 及ばず、食事作りの参考になるような書籍や情 報はほとんどないのが現状です。

そこで当院ではより多くの方にてんかん食を 身近に感じていただけるよう、患者さまのご意 見をもとに「ケトン食 かんたん・おいしいレシ ピ集」というコーナーをホームページ上に設け、 てんかん食の食事作りのヒントになるようなメ ニューを掲載しています。麺料理やお弁当に適 しているメニュー、おやつメニューなど様々で す。バレンタインのチョコレートやクリスマスの チキン料理といった行事レシピもあります。食 種ごとや料理のジャンルごとに検索出来るので、 興味のある方やてんかん食食事療法を検討され ている方は是非ご覧になってみてください。

(栄養管理室 竹浪 千景)

■ 外来再診の診療体制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

	月	火	水	木	金
第1診察室		山崎	川口	山崎	臼 井直
第2診察室	久保田 _英	池 田 年前 のみ		久保田 _英	
第3診察室	今 井		井 上		近藤
第4診察室		鳥取	日吉		日吉
第5診察室	池田仁	池田浩	池田浩	寺 田清	寺 田清
第6診察室	芳 村			芳 村	松 平
第7診察室		荒 木		美 根	山口
第8診察室		西田	高 橋		
第9診察室	重 松			大 谷	大 谷

神経内科

	月	火	水	木	金
	午後				
第10診察室	小尾	小尾	小尾		小尾
第11診察室	杉浦	杉浦	寺田達		山崎/馬場國 尾内(第4)

特殊外来

転倒予防外来	随時	小尾				
認知症疾患医療センター	月·水	小尾				
遺伝相談	随時	高橋、小尾				
禁煙外来	随時	池田仁				
ねむけ外来	月	寺田清				
包括的てんかん外科初診外来	火	臼井				

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に 行なうために、医療連携室(予約センター)を 設置しています。ご利用ください。(平日)

TEL■054-246-4580(初診) 054-246-1065(再診)

FAX ■ 054-246-4607

予約センターの受付時間

● 9:00 ~ 12:30 ● 13:30 ~ 17:00

E-mail ■ renkei@shizuokamind.org

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、 終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの 検査が可能です。共同利用も可能です。 上記、医療連携室にお問い合わせください。

広 報 誌 編 集 委 員 会

編集人■

寺田清人佐藤 美喜子坪井千浩矢嶋隆宏佐倉裕二松田 雄一朗堀田真子高橋輝井上和哉大山敏生

発 行■平成 31 年 1 月 31 日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター 〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054-245-5446

F A X ■ 054-247-9781

U R L ■ http://www.shizuokamind.org

E-mail ■ shizuoka@shizuokamind.org

はじめて当院を受診される方へ

◆診察は予約制になっています◆

1 受診のための手続きは…

予約は、ご本人・ご家族から当院地域医療連携室(054-246-4580)へ、あるいは主治医の先生から当院地域医療連携室へ申し込んでください。その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

(2) 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

当院へのアクセス

access

バスを ご利用の場合

■ JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡 鉄道バスにて、こども病院線「67こども病院・ 神経医療センター」行に乗車、終点の"静岡神経医療 センター"で下車。全所要時間は約30分。 片道料金は大人360円、小児180円。

タクシーを ご利用の場合

JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,500円程度。

東京 方面から

お車の場合

名古屋 方面から

- ●東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡 方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター 通りを北へ約3分。 所要約20分。
- ●御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡 ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
- ●東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを 北へ約10分。 所要約30分。
- 新東名高速道路・新静岡 I C より、案内板に従い直 進。所要時間約7分。

3 紹介状について

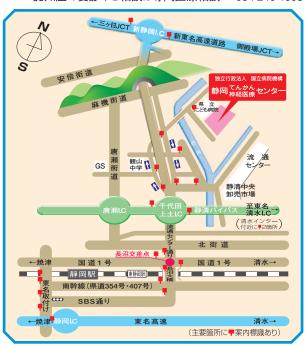
現在すでに病院へかかっておられる方は、主治 医の紹介状があることが望ましいですが、なくても 結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,700円) がかかりますので、ご了解ください。病院からの資 料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608



本

●抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q&A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

●てんかん症候群(第5版)

~乳幼児・小児・青年期のてんかん学~ 【中山出版、2014年】

てんかん学の「ブルーガイド」として世界的に普及している "Epileptic Syndromes(原書第5版)"の日本語翻訳版です。4版よりも10%以上ボリュームが増え、より詳しい内容になり、他では決して得られない極めて貴重なてんかん発作の動画付き。静岡てんかん・神経医療センターのスタッフが総力をあげて翻訳しています。

●てんかんをめぐるアート展2016

【日興美術社、2016年】

当院が主催した第50回日本てんかん学会学術集会の折りに、「てんかんをめぐるアート展」を開催しました。その図録です。全国から集まった160点を収録しています。当院にて入手可能です。

新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師 および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。 2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。 本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。 小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のス

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積した センターが外来棟1階にあります。

- どうぞご利用ください。次の活動を行っています。
- てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)

タッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

- ②ホームページによる情報提供 http://epilepsy-info.jp/
- ❸ てんかん協会との連携
- ●医療などの相談(予定)